

行田市教育政策アドバイザー 細田 眞由美 氏による講評

全3回にわたりワークショップを積み上げてきましたが、最初は「新しい学校や未来の学校をつくる」といっても、どのような切り口で話し合うか悩まれていたのではないかと思います。

でも、回を重ねるごとに、自由でフレキシブルな発想が飛び出し、最終的には素晴らしい成果物が完成しました。3回にわたりお付き合いさせていただいた身として感動しています。

成果物を見てみると、未来の学校として、これまでの「教室や廊下など」の固定観念が取り払われたフレキシブルな考え方が示されていることがよく分かります。

デジタル空間と物理空間の融合も考えられており、大きなスクリーンで VR を使った体験やリアルタイムで外国と交流するといった意見も出ていまして「これよね」と膝を打ちました。

「大人も子どもも地域社会とつながる、開かれた学校」というコンセプトが全ての班で共通していました。まさにこれから、学校と地域が協力し合いながら、子どもたちも大人たちも共に学び合う場となっていくことが感じられるものです。

“交流”。これもひとつ大きなキーワードでした。どの班もなんらかの形で様々な交流が生み出されています。みんなつながりたい。そして、みんながつながるところで何か新しい価値が創造されるという期待があります

また、子どもたちからは、「学びたいことを学べる学校」「好きなことにチャレンジできる学校」というコンセプトが様々に出されました。皆さんが3回で積み上げた好きなことにチャレンジできる空間というアイデアを活かし、行田の新しい学校を作ってくれと思って、今からワクワクしています。

全3回とっても素敵なワークショップになりました。皆さん本当にありがとうございました。